

NAVIGATION

— 進路指導部便り — 臨時増刊4号 2020年5月8日

73 回生大学入学共通テストまであと255日

発行 夢野台高等学校
進路指導部

前号で紹介した体験記の内容はいかがでしたか？

2人とも志望校を決めることの大切さを語っていましたね。勉強はしんどいもの。そのしんどいことに立ち向かうためには、なりたい自分像を明確に描くことが必要です。なりたい自分像は、今このしんどいことを乗り越えるエネルギーをあなたに与えてくれます。「stay home」が叫ばれる今、実際にあこがれの志望校に足を運ぶわけにはいきませんが、ネットなどを利用して志望校探訪をしてみましょう。すてきなキャンパスの映像や、楽しそうなキャンパスライフなどが紹介されているはずです。息が詰まるような毎日ですが、将来のことも思い描いてみましょう。

では、今号も2名の体験記を紹介します。

合格体験記 ～72 回生～

皆さんに伝えたい二つのこと

兵庫教育大学学校教育学部 檜崎 友太

私が受験生としての一年を過ごし、皆さんに伝えたいと思ったことが二つあります。

一つは、今勉強以外に打ち込んでいるもの（主に部活動など）がある人は、最後までやり切ってほしいということです。私は陸上部に所属していて、秋の駅伝大会まで部活動を続けました。私は他の選手に比べ記録が劣っていたことに加え、受験への絶対的な自信もなかったのも、秋まで走り続けることに不安を感じることもありました。しかし、部活動を最後までやり切れたことで、それが小さな自信となり、受験勉強を継続させる力に変わりました。最終学年になれば、より部活動と勉強の両立に悩むこともあるかとは思いますが、これが最後と決めた時まで悔いなくやり切ってください。

もう一つは、受験は何が起こるかわからないこと。そしてその度に気持ちを切り替え、自分が最善だと思える選択をすることが大切だということです。私はセンター試験で直近の模試から合計百点ほど点数を落としてしまい、志望校を変更することになりました。自分で想定していた最低点をさらに下回り追い込まれましたが、結果は結果として受け止め、担任の先生と相談し、一番納得のいく形で決断ができたことで、前向きに二次試験の対策に取り組むことができました。そこで気持ちが切り換えられていなければ、結果は変わっていたかもしれません。

この一年間上手くいかないこと、不安なことは必ず起こります。そのようなときでも、決して自分を見失うことなく、希望する進路を実現するまであきらめないで頑張ってください。

私の受験生活

関西大学文学部総合人文学科 高山 千鶴

私が関西大学を受験しようと考えたのは、三年生の夏になってからでした。大学の名前すらもろくに知らないまま部活動を引退してから、私がまず感じたのは焦りです。周りが二年生から塾に通い着実に実力を伸ばしている中で、私は塾にも行かず昔から続けていた進研ゼミの教材も溜めたまま。大学の情報や勉強法の知識も満足に得られないというこの不安は、受験が終わるまでずっと続いていました。

そんな不安に耐えられたのは、おさえの大学を得ていたおかげかもしれません。体育祭後に友達から公募推薦という選択肢を教わり、急遽受験を決意。そこで何とか合格をいただくことが出来ました。その為、一般入試は関西大学一本に絞り、だめならおさえの学校へ、と自分の方向性を定められたのが大きかったです。

とは言え私は怠けてしまうことが多々あり、知識も不完全で、受験生として恥ずかしい生活をしたかと聞かれると、うなずくことはできません。けれどここで伝えておきたいのは、私はこの三年間自分なりに真面目に授業に取り組んだということです。その為定期テストや評定平均は良い方だと言える成績を修めることが出来ていました。先輩方から学校の勉強なんて捨てていいという意見も聞きましたが、私は反対です。実際、公募推薦では実力テストに評定平均も加算される方式で、私はそれに助けられたといっても過言ではありません。さらに本命校に向けての勉強でも、授業で得た知識のおかげで、0からのスタートというわけではありませんでした。もちろんすべて100%でというわけにはいかないので、強弱をつけることも肝要です。

合格最低点をなかなか越せなくても、友達と比べて合格の可能性が低くても、最後の結果は本当に誰も予想できません。自分を信じて、絶対に諦めず、後悔のない日々を過ごせるよう毎日を大切にしてください。気づけば受験は目の前です。